

<2020 年春 消費者の暮らし向きに関するアンケート 調査結果より>

消費増税から半年 負担増の実感が徐々に

増税直後の前回調査時と比較し、増税の負担感について『想像していたよりも負担感は感じていない』と『想像以上に重く感じている』の割合が逆転しました。増税から約半年たち、負担を実感する人が増えたようです。『想像以上に重い』と回答した人の理由には、高額な商品や軽減税率の対象でない日用品を購入したときの負担感が挙げられており、『想像よりも負担感を感じない』と回答した人では、キャッシュレス決済によるポイント還元が多く挙げていました。増税後の生活水準においても、増税の負担感同様、厳しめに考える人が少し増えています。

キャッシュレス決済を選ぶ人は増えており、前回は『今までと変わらない（現金中心）』が全体で半数を少し超えていましたが、今回は約 40% まで減りました。

今回寄せられた意見では、前回に比べ「仕方ない」「必要だ」という趣旨のものが目立ちました。新型コロナウイルス関連での助成金の支給が決定し、消費者の考えに影響があったのではないかと推察しています。

図1-① 増税の負担感をどれくらい感じますか

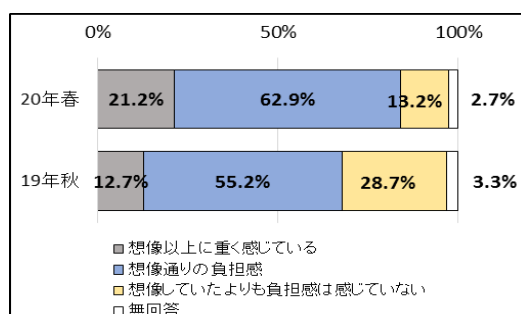


図2-① 増税後の生活水準はどうなると感じますか

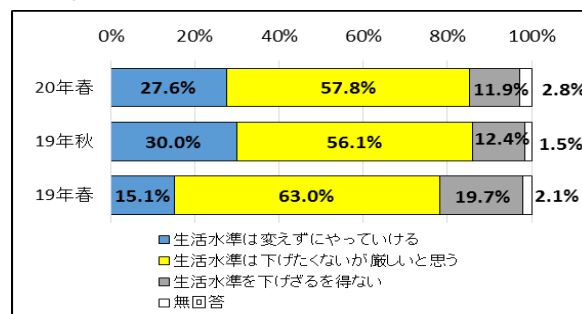


図1-② 年代別 増税の負担感をどれくらい感じますか

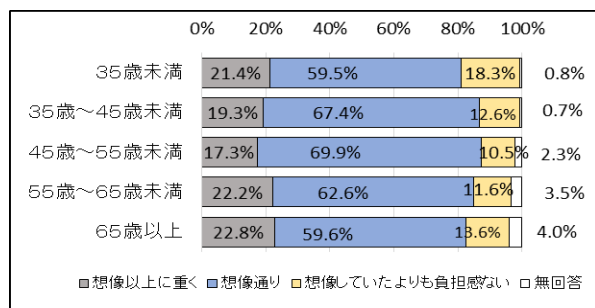


図2-② 年代別 増税後の生活水準はどうなると感じますか

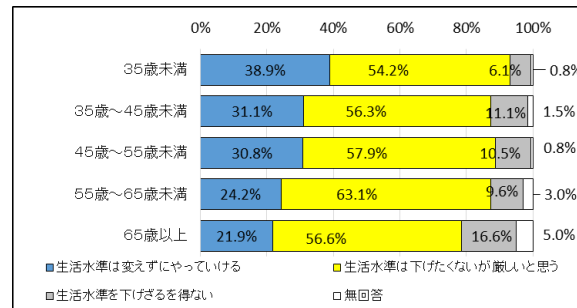


図4-① ポイント還元が始まって買い物の支払い方法は変わりましたか

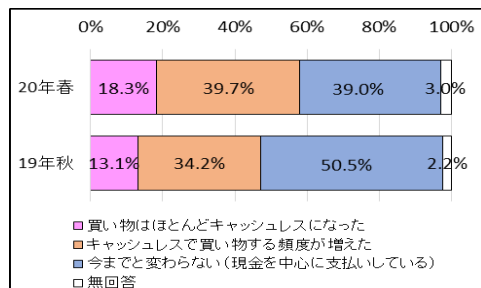
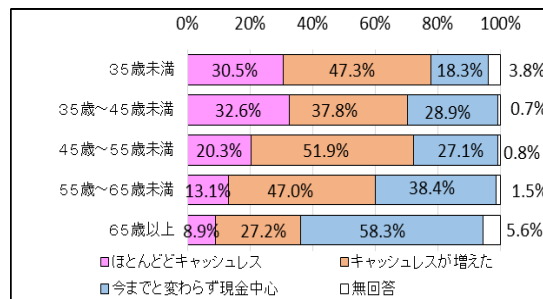


図4-② 年代別 ポイント還元が始まって買い物の支払い方法は変わりましたか



支払い方法は、特に若い年代で「現金中心」より「キャッシュレス中心」へ、全体でも、キャッシュレスを選ぶ機会が増えています。

緊急で追加の調査を実施します

今回の調査を実施した直後より集計の間、新型コロナウイルス感染拡大状況は急激に変化し、暮らしへの影響は甚大でした。大きく変わった「意識」や「環境」を尋ね、問題をあぶりだすことを目的とし、2020年6月に「消費者の暮らし向き調査 緊急調査」を実施します。結果公表は7月を予定しております。